胡弓

LA VIOLE DE GAMBA

ルイ・ベルトラン　Louis Bertrand

青空文庫

こはいかに、紛ふ無き親友ジァン・ガスパル・ドビュロオ、綱渡の一座中世に隠れ無き道化ものゝ蒼ざめ窶(やつ)れたる姿にあらずや。
惡戯(いたづら)と温順とを浮べたる名状し難き顔色にてこなたを見詰めたり。

テオフィル・ゴオティエ――「オニユウリユス」

月夜の晩に
ピエロオどのよ、
文(ふみ)がやりたい
その筆かしやれ、
明(あかり)が消えて
見えなくなつた。
後生(ごしやう)だから早く
この戸をおあけ。

俗謡

唱歌の長が弓を當てて胡弓の唸を試めしてみると、樂器は忽ち哄笑や顫音のおどけた鳴動をして答へた。伊太利亞狂言がよく消化れずに腹の中にあるのだらう。

まづ始には女目付のバルバラが呟くやう、あのピエロオの拔作め、氣の利かないのも程がある、カサンドル樣の假髮の箱を落して、白粉を皆播いて了つたぞ。

そこでカサンドルは大事さうに假髮をお拾ひなさる、アルルカンは粗忽者の尻をいやといふほど蹴飛すと、コロムビイヌは笑ひこけて涙を拭く、ピエロオは厚化粧の苦笑で耳までも口を開いた。

然し間もなく月夜になると、明を消したアルルカンは友達のピエロオに懇願して、ちよいと戸をあけて、火をつけさせてくれろといふ、さては親仁の金箱ぐるみ、娘をつれて驅落するのか。

琴屋の畜生、ヨブ・ハンスめ、こんな絲を賣り居つたなと唱歌の長は小言をいひつつ、埃だらけの箱の内へ埃だらけの胡弓を仕舞つた。絲は切れたのである。

青空文庫情報

底本：「上田敏全訳詩集」岩波文庫、岩波書店
1962（昭和37）年12月16日第1刷発行
2010（平成22）年4月21日第38刷改版発行
初出：「アルス　創刊号」
1915（大正4）年4月
入力：川山隆
校正：岡村和彦
2012年11月2日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

胡弓
LA VIOLE DE GAMBA

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　ルイ・ベルトラン　Louis Bertrand
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/